



「KCAPベンチャー1号ファンド」での投資について ～デジタル医療機器の研究開発を行う「Almaprism株式会社」へ投資～



京都銀行（頭取 安井 幹也）と京都キャピタルパートナーズ株式会社（代表取締役社長 山本 洋史）が出資・運用する「KCAPベンチャー1号ファンド」は、「Almaprism株式会社」へ投資いたしました。今回、同社がシード期の資金調達を実施し、これに投資したものです。

同社は、「ビデオゲーム×医療」をテーマに新たなデジタル医療領域の研究開発を手掛ける企業です。ビデオゲームを通して子どもの「考え方」を測定することで小児のADHD（注意欠如・多動症）の臨床現場および家庭でのケアをサポートするデジタル医療製品を、国立精神・神経医療研究センター、浜松医科大学と共同で研究開発中です。今後、臨床試験等を経てプログラム医療機器としての承認を目指します。同社技術の製品化により、すべてのADHDに関わる医療現場・家庭に対して、適切な治療・支援が行き渡る社会の実現が期待されます。

京都銀行と京都キャピタルパートナーズは、今後も成長が期待できる企業への積極的な支援を通じて社会課題解決に取り組み、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

記

1. 投資先概要

企業名	Almaprism株式会社
代表者	CEO 糟野 新一
所在地	京都市下京区中堂寺栗田町93 KRP4号館3階 KRP BIZ NEXT
設立	2022年4月
事業内容	ビデオゲームによる小児ADHD向けソリューションの開発

2. 投資について

本件投資により「Almaprism株式会社」は、同社技術に対する臨床試験を実施します。



3. KCAPベンチャー1号の概要

名 称	KCAPベンチャー1号投資事業有限責任組合 (略称：KCAPベンチャー1号ファンド)
投資対象	関西圏を中心とした革新的な技術・サービスを展開するベンチャー企業 ※以下のいずれかに該当する企業は関西外でも投資いたします。 ・京都銀行および取引先企業の経営課題の改善あるいは新規事業協業等に資する事業を行っている。 ・日本発でグローバルトップが狙える可能性がある事業を行っている。
出 資 者	無限責任組合員（GP）：京都キャピタルパートナーズ株式会社 有限責任組合員（LP）：株式会社 京都銀行
ファンド総額	100億円
京都銀行出資額	99億90百万円
設 立	2024年9月13日
存続期間	12年（2024年9月～2036年12月） 但し合意により3年間の延長可能

以 上

京都フィナンシャルグループでは、「地域社会の繁栄に奉仕する～地域の成長を牽引し、ともに未来を創造する～」という経営理念に基づいた企業活動を行っております。今後も経営理念のより一層高いレベルでの実践である **SDGs** 達成に向け、地域の社会課題の解決に貢献してまいります。なお、関連するプレスリリースに **SDGs** の目標のアイコンを明示しております。

